

青南小学校 避難所運営訓練

- ◆日 時 平成21年10月4日（日曜） 15:00～17:00
- ◆場 所 青南小学校
- ◆参加者 北青山三丁目住宅自治会、青山三・四丁目町会、青山表参道町会、青山高樹町町会、山筭町会の方々
(計53名)
- (協力：青南小学校、港区防災課、赤坂地区総合支所、赤坂消防署)
- ◆訓練内容 避難所運営マニュアルに基づいた訓練（以下参照）

●協議会本部設置担当

- 地下1階備蓄倉庫から必要物資を1階第1会議室に運び出し、協議会本部を設置します。
- 避難場所やそこまでの経路の安全確認を行い、案内の貼り紙を貼ります。



【避難者への案内用貼り紙を貼付します。】



【経路の制限も行います】

●情報集約・活動調整担当

- 青南小ブロックの防災マップを用意します。
- 町会・自治会の方や避難者からの地域の被害状況報告をもとに、防災マップに被害状況を落としこみます。



【防災マップに被害状況を集約します】



【効果的な情報の集約方法も検討します】

●避難者誘導・居住班編制担当

○一般者用避難場所（地下1階体育館）を町会・自治会ごとに区分けします。

○団体ごとに区分けすることで、物資の配給等を効率良く行えます。



【養生テープ等を用いて区分けします】



【体育館にある資材も活用します】

●照明・仮設トイレ設置担当

○地下1階備蓄倉庫から、仮設トイレ、投光機や発電機を運び出し、地下1階非常用通路に設置します。



【地下1階非常用通路にトイレを設置します】



【トイレはルールを守って使うことが重要です】

【お問い合わせ】

赤坂地区総合支所 協働推進課

協働推進係 担当：森、辻

電話：5413-7272 FAX：5413-2019

第2回

青南小学校 避難所運営訓練

◆日 時 平成23年6月25日（土曜）

□第1部（避難所立ち上げ訓練） 10:00～11:30

□第2部（避難者受入れ訓練） 11:30～13:00

◆場 所 青南小学校

◆参 加 者 150名

□青山地区防災協議会員（立ち上げメンバー含む） 52名

□青南小学校PTA 23名

□避難者役 42名

□学校、消防署、港区（防災課、赤坂地区総合支所） 31名

□事業者（葛飾福祉工場、グリコ） 2名

◆訓練内容 第1部（避難所立ち上げ訓練）

青山地区防災協議会員と青南小学校PTAを中心に、5つの担当に分かれて避難所の立ち上げに係る作業を行いました。

第2部（避難者受入れ訓練）

避難所の立ち上げ作業を行ったメンバーが、避難者役の方々を受け入れる準備作業を行いました。

また、校内には複数の訓練体験ブースを設置し、参加者の方々が自由に体験しました。

<第1部 避難所立ち上げ訓練の様子>

●協議会本部設置担当

○防災備蓄倉庫から1階 第1会議室に避難所運営本部立ち上げセットを運び出します。

○学校内を避難所として使用するための準備として、貼り紙の貼付や受付を設置します。



【備蓄倉庫から必要な資機材を運びます】



【1階玄関ホールに受付を設置します】

●情報集約・活動調整担当

○青南小ブロックの防災マップを用意し、町会・自治会の方々や避難者からの地域の被害状況報告をもとに、防災マップに情報を集約します。



【防災マップに被害状況を集約します】



【集約した情報をどのように発信するかも重要です】

●避難者誘導・居住班編制担当

○一般者用避難場所（地下1階 体育館）を町会・自治会ごとに区分けをします。

○物資の配給等を効率良く行ううえで、通路の確保は重要です。



【区割りの方法（大きさ）も臨機に対応します】



【ロールカーペットを用いて通路も確保します】

●照明・トイレ設置担当

○防災備蓄倉庫から、校庭にマンホールトイレ、発電機や投光機を運び出し、設置します。



【校庭がマンホールトイレの設置場所です】



【発電機を用いて照明を確保します】

●炊き出し担当・青南小学校PTA

○アルファ米と豚汁の炊き出しを行い、災害用バーナーの取扱い方法を確認します。



【アルファ米は水でも作ることができます】



【バーナーの取扱いは十分な注意が必要です】

＜第2部 避難者受入れ訓練の様子＞

●避難者受付

○1階 玄関ホールの避難者窓口（受付）において、避難者の対応を行います。

○避難所の統制を図るため、一斉に多くの避難者が入場しないよう調整します。



【1階玄関ホールに避難者窓口（受付）を設置します】



【人数調整をしながら、体育館へ誘導します】

●避難者誘導・居住班編制

○避難者を一般者用避難場所（地下1階 体育館）に誘導し、町会・自治会ごとにまとまるよう指示をします。

○同じ組織の避難者がある程度集まったら10名程度の居住班（※）を作り、居住班ごとに名簿を作成します。 ※居住班・・・避難所内で生活・行動をする班



【避難場所では組織ごとにまとまります】



【居住班ごとにリーダーを決め、名簿を記入します】

●防災訓練

- 防災備蓄倉庫見学 ○初期消火器訓練 ○応急救護訓練
○起震車体験 ○炊き出し訓練 ○防災・講習相談コーナー ○災害用品展示コーナー



【街頭消火器の場所を確認しておきましょう】



【AEDは音声ガイダンスに従って使用します】



【グラっときたら身の安全を最優先します】



【各家庭での災害への備えが重要です】



【大好評の炊き出し訓練】
(炊き出し班・青南小学校 PTA の皆さん)



【日頃からの地域の繋がりを深めておくことが、
いざというときの助け合いにつながります】

【お問い合わせ】

青山地区防災協議会

青南小ブロック長 宮川 修

電話：3409-2020

赤坂地区総合支所 協働推進課

協働推進係 森 (健)、辻

電話：5413-7272 FAX：5413-2019

第3回

青南小学校 避難所運営訓練

◆日 時 平成25年6月29日（土曜）

□第1部（避難所立ち上げ訓練） 10:00～11:30

□第2部（避難者受入れ訓練） 11:30～13:00

◆場 所 青南小学校

◆参加者 290名

□青山地区防災協議会員（立ち上げメンバー含む） 39名

□青南小学校先生 11名

□青南幼稚園、青山小学校、青山生涯学習館 3名

□青南小学校PTA 11名

□避難者役 203名

□赤坂消防署、赤坂警察署、赤坂地区総合支所 20名

□事業者（葛飾福祉工場） 1名

◆訓練内容 第1部（避難所立ち上げ訓練）

青山地区防災協議会員と青南小学校PTAを中心に、5つの担当に分かれて避難所の立ち上げに係る作業を行いました。

第2部（避難者受入れ訓練）

避難所の立ち上げ作業を行ったメンバーが、避難者役の方々を受け入れる準備作業を行いました。また、校内には複数の訓練体験ブースを設置し、参加者の方々が自由に体験しました。

<第1部 避難所立ち上げ訓練の様子>

●協議会本部設置担当

○防災備蓄倉庫から1階 第1会議室に避難所運営本部立ち上げセットを運び出します。

○学校内を避難所として使用するための準備として、貼り紙の貼付や受付を設置します。



【避難スペースに貼紙をします】



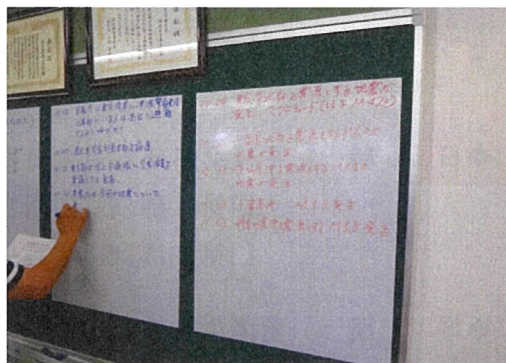
【1階玄関ホールに受付を設置します】

●情報集約・活動調整担当

○青南小ブロックの防災マップを用意し、町会・自治会の方々や避難者からの地域の被害状況報告をもとに、防災マップに情報を集約します。



【防災マップに被害状況を集約します】



【避難所に必要な情報を掲示板に集約します】

●避難者誘導・居住班編制担当

○一般者用避難場所（地下1階 体育館）を町会・自治会ごとに区分けをします。

○物資の配給等を効率良く行ううえで、通路の確保は重要です。



【ロールカーペットを用いて通路も確保します】



【多目的ハウスも設置しました】

●照明・トイレ設置担当

○防災備蓄倉庫から、校庭にマンホールトイレ、発電機や投光機を運び出し、設置します。



【校庭がマンホールトイレの設置場所です】



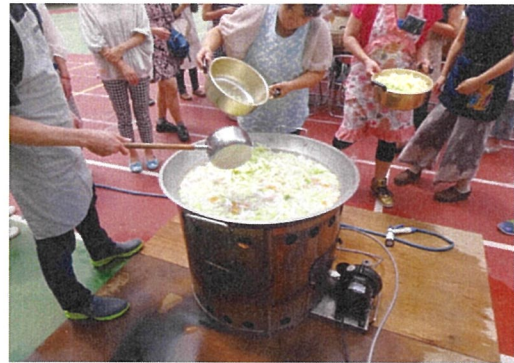
【発電機を用いて照明を確保します】

●炊き出し担当・青南小学校PTA

○アルファ米とカレースープの炊き出しを行い、災害用バーナーの取扱い方法を確認します。



【アルファ米は水でも作ることができます】



【おいしいカレースープが出来上がりました】

＜第2部 避難者受入れ訓練の様子＞

●避難者受付

○1階 玄関ホールの避難者窓口（受付）において、避難者の対応を行います。

○避難所の統制を図るため、一斉に多くの避難者が入場しないよう調整します。



【たくさんの方が避難者役で参加しました】



【人数調整をしながら、体育館へ誘導します】

●避難者誘導・居住班編制

○避難者を一般者用避難場所（地下1階 体育館）に誘導し、町会・自治会ごとにまとめるよう指示をします。

○同じ組織の避難者がある程度集まったら10名程度の居住班（※）を作り、居住班ごとに名簿を作成します。 ※居住班・・・避難所内で生活・行動をする班



【避難場所では組織ごとにまとまります】



【居住班ごとにリーダーを決め、名簿を記入します】

●防災訓練

- 初期消火器訓練
- 応急救護訓練
- 防災行政無線使用訓練（協議会本部担当のみ）
- 起震車体験
- 炊き出し訓練
- バーナー操作方法訓練
- 災害用品展示コーナー
- 赤坂警察署によるDVD放映
- マンホールトイレ展示・発電機稼動訓練



【初期消火訓練】



【A E D 操作訓練】



【防災行政無線使用訓練】



【起震車体験】



【大好評の炊き出し訓練】



【バーナー操作方法訓練】



【赤坂警察署によるDVD放映】



【マンホールトイレ展示】

第4回

青南小学校 避難所運営訓練

◆日 時 平成26年10月10日（金曜）

□避難所立ち上げ訓練 18:00～20:00

◆場 所 青南小学校

◆参加者 41名

□青山地区防災協議会員（立ち上げメンバー含む） 30名

□青南小学校先生 2名

□赤坂消防署、赤坂警察署、赤坂地区総合支所 9名

◆訓練内容 避難所立ち上げ訓練

青山地区防災協議会員を中心に、4つの担当に分かれて夜間時における避難所の立ち上げ作業を行いました。今回の訓練から、備蓄物品にソーラーランタンを導入し、夜間時の机上での作業に便利な灯りを確保することができました。

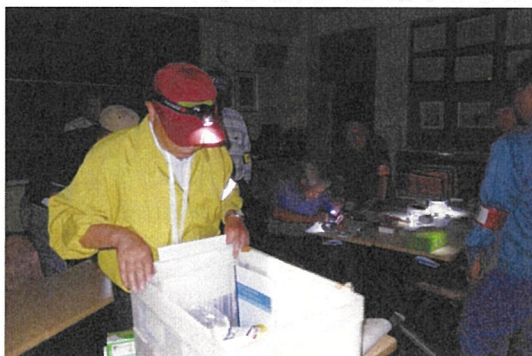


<避難所立ち上げ訓練の様子>

●協議会本部設置担当

○防災備蓄倉庫から1階 第1会議室に避難所運営本部立ち上げセットを運び出します。

○学校内を避難所として使用するための準備として、貼り紙の貼付や受付を設置します。



【備蓄倉庫から避難所立ち上げセットを運び出します】



【1階玄関ホールに受付を設置します】

●情報集約・活動調整担当

- 手回し式ラジオを使用し、ラジオから流れるニュースの情報を書き取ります。
- 書き取った情報はシートにまとめ玄関ホールに掲示します。



【救出救助セットを本部に運び出します】



【ラジオから聞き取った情報を集約します】

●避難者誘導・居住班編制担当

- 一般者用避難場所（地下1階 体育館）を町会・自治会ごとに区分けをします。
- 物資の配給等を効率良く行ううえで、通路の確保は重要です。



【ロールカーペットを用いて通路を確保します】



【ダンボールパテーションも設置しました】

●照明・発電機設置担当

- 防災備蓄倉庫から、体育館に発電機や投光機を運び出し、設置します。



【体育館に照明を設置します】



【投光機を2台設置すると
かなりの明るさになります】

第5回

青南小学校 避難所運営訓練

◆日 時 平成29年3月4日（土曜）

16:45～19:30

◆場 所 青南小学校

◆参加者 42名

□青南小ブロック	26名
□青山地区防災協議会会員	4名
□青南小学校	2名
□赤坂消防署、赤坂警察署	5名
□港区（赤坂地区総合支所）	5名

◆訓練内容 【トランシーバー操法訓練】

トランシーバーの基本的な操作方法やトランシーバー使用におけるルール等を確認するトランシーバー操法訓練を実施しました。

【夜間を想定したツアー形式による避難所立ち上げ訓練】

協議会本部設置担当、情報集約・活動調整担当、照明・トイレ設置担当、居住班編成担当の4つの班の活動を参加者全員が見て回る、ツアー形式の訓練を実施しました。校舎内は電気を消して暗い状態にしていたため、ヘッドライトで周囲を照らしながらの作業となりました。

＜訓練の様子＞

●トランシーバー操法訓練

- 電源の入れ方やチャンネルの合わせ方等、基本的な操作方法を確認しました。
- トランシーバー使用におけるルールを確認し、実際にルールに従い通信を行いました。



【トランシーバーの操作方法を確認しました】



【実際に通信している様子】

●協議会本部設置担当

- 備蓄倉庫から避難所立ち上げセットを第一会議室に運びました。
- 避難者窓口を玄関ホールに設置し、協議会本部設置担当の活動内容の説明を行いました。
- 避難場所として使用する場所、立入禁止箇所への貼紙の貼付やテープによる経路の制限を行いました。
- 作業完了をトランシーバーにより赤坂支所の職員に報告しました。



【避難者窓口を設置しました】



【立入禁止の制限を行いました】



【作業完了を報告している様子】

●情報集約・活動調整担当

- 備蓄倉庫からホワイトボードシート、防災マップを玄関ホールへ運びました。
- トランシーバーにより与えられる情報をホワイトボードへ集約しました。



【玄関ホールに防災マップを設置しました】



【情報を集約している様子】

●照明・トイレ設置担当

- 備蓄倉庫からマンホールトイレ、投光器、発電機を校庭及び体育館へ運びました。
- 発電機の操作確認後、マンホールトイレ及び投光器の組立を行いました。
- 作業完了をトランシーバーにより赤坂支所の職員に報告しました。



【発電機を操作している様子】



【マンホールトイレ組立の様子】



【作業完了を報告している様子】

● 居住班編成担当

- 備蓄倉庫からロールカーペットを体育館へ運びました。
- ロールカーペットを用いて町会・自治会ごとの区分けを一部行いました。
- 多目的ハウスの組立を行いました。
- 作業完了をトランシーバーにより赤坂支所の職員に報告しました。



【ロールカーペットを用いて区分けを行いました】



【作業完了を報告している様子】

● 反省会

- 第一会議室に集まり、訓練参加者全員で訓練を通しての感想や意見を共有しました。

＜意見・感想としてあがった内容＞

- ・ 備蓄倉庫の鍵が3本あるが、どの鍵がどこの倉庫の鍵か分からないため、分かるように鍵に番号を付けてほしい。
→ 備蓄倉庫の番号を鍵に付けました。
- ・ 地下2階から体育館へ入る扉の鍵がかかっていたため、備蓄倉庫から体育館への資機材の運搬が大変だった。地下2階の体育館入口を使用できるような手順を検討してほしい。
→ 備蓄倉庫へ物資を取りに行く際の導線を「正面玄関から校舎内へ入り、体育館を通過して備蓄倉庫へ移動する」とします。その際、正面玄関から体育館までの避難経路の安全確認も合わせて行うこととします。
- ・ 協議会本部設置担当が使用する貼紙に不足があった。必要な貼紙は用意しておいてほしい。
→ 不足の貼紙を確認し作成しました。
- ・ 情報集約・活動調整担当はトランシーバーにより与えられる情報を集約する訓練を行ったが、情報付与のスピードが速く書き取ることが困難であったため、録音機があると良いと感じた。
→ 実際の災害時、情報は次々と付与されることが予想されます。録音しても聞き返すことやすべてをホワイトボードに記載することは困難となることが予想されます。そのため、まずは紙に聞き取った情報を書き取り、周知する必要がある情報のみをホワイトボードに記載する方法をとることとします。また、聞き漏らした情報については情報提供者に再度情報を提供することを依頼することとします。
- ・ 多目的 TENT を片づける際、たたみ方が分からず苦勞したため、TENT に印をつける等して簡単にたためるような工夫を施してほしい。
→ シール等を用いて TENT に番号を振り、スムーズな片づけが行えるような対応を施します。
- ・ 今回は夜間の発災を想定した訓練であり、暗い中での作業であったため、明かりの確保の重要性を感じる訓練であった。

